

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

04-152765

(43) Date of publication of application: 26.05.1992

(51)Int.Cl.

HO4N 5/225 GO3B 37/00

(21)Application number : 02-276440

(71)Applicant: OLYMPUS OPTICAL CO LTD

(22)Date of filing:

17.10.1990

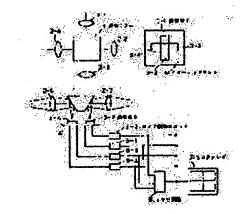
(72)Inventor: TANAKA SHUNPEI

(54) MULTI-DIRECTION IMAGE PICKUP VIDEO CAMERA

(57) Abstract:

PURPOSE: To realize a multi-direction image pickup video camera able to pick up plural objects simultaneously, sequentially or selectively by providing plural image pickup elements and an optical system forming an image of the object in plural directions to each of the plural image pickup elements to the video camera.

CONSTITUTION: A light radiating from an object in four directions is made incident in each of relevant image pickup elements 3–1, 3–2, 3–3, 3–4 respectively via each of image forming lenses 2–1, 2–2, 2–3, 2–4 and each reflecting face of a polygon mirror 1. An image pickup signal from the image pickup elements 3–1, 3–2, 3–3, 3–4 is processed by camera control units 5–1, 5–2, 5–3, 5–4, processed again by a mixer circuit 6, and displayed and observed on 4–split screens of one monitor television receiver 7. Moreover, a processing signal from the camera control units 5–1, 5–2, 5–3, 5–4 is



outputted on four monitor television receivers not through the mixer circuit 6 to observe the object image from four directions as independent television pictures.

LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

19日本国特許庁(JP)

(1) 特許出願公開

◎ 公 開 特 許 公 報 (A) 平4−152765

Solnt. Cl. 5

識別配号

庁内整理番号

@公開 平成4年(1992)5月26日

H 04 N 5/225 G 03 B 37/00 H 04 N 5/225 D 8942-5C Z 7316-2K C 8942-5C

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全4頁)

❷発明の名称

多方向撮像ビデオカメラ

❷出 願 平2(1990)10月17日

@発明者 田中

俊平

東京都渋谷区幡ケ谷2丁目43番2号 オリンパス光学工業

株式会社内

勿出 顋 人 オリンパス光学工業株

東京都渋谷区幡ケ谷2丁目43番2号

式会社

四代 理 人 弁理士 最上 健治

明 一相 書

1. 発明の名称

多方向摄像ビデオカメラ

- 2. 特許請求の範囲
 - 複数個の提像素子と、該複数個の損像素子 のそれぞれに複数方向の被写体像をそれぞれ 結像させるための光学系とを備え、各方向の 被写体を攝像できるようにした多方向提像ビ デオカメラ。
 - 2. 前記複数個の提像素子は、複数方向の被写体を同時に又は順次に提像できるように構成したことを特徴とする請求項1記載の多方向 提像ビデオカメラ。
- 3. 発明の詳細な説明

〔産業上の利用分野〕

この発明は、一台のビデオカメラで多方向の被 写体を復復できるようにした多方向提像ビデオカ メラに関する。

〔従来の技術〕

一般にビデオカメラは、第4図に示すようにC

C D 等の場像素子101 と、被写体102 の像を前記 操像素子101 に結像させるためのレンズ103 と、 前記操像素子101 を駆動するための信号を送出す る駆動国路及び緩像素子101 からの機像信号を処理する信号処理回路等からなるカメラ制御ユニット104 からなり、1方向の被写体を提像して、カメラコントロールユニット104 で処理した出力信号をモニタテレビ105 等で表示するようになっている。

〔発明が解決しようとする課題〕

上記のように従来のビデオカメラでは、通常 1 方向の被写体しか機像することができない。 1 台のビデオカメラで複数の被写体を機像しようとする場合は、複数の被写体が同一画面上に収まるまで、ビデオカメラを被写体から遠ざけねばなならい。このようにビデオカメラを被写体から遠ざけなると、必ずし、必ずしをを選った角度から多くなると、狙った被写体以外のノイズ的なものが機像されてしまい、所望の被写体

のみを提供することは困難である。

更に、例えばく方向に存在する被写体などを同時に提像しようとすると、もはや1台のカメラでは不可能であり、この場合は、第5図に示すように、4台のビデオカメラ111、112、113、114を、それぞれ被写体A。B。C。Dの方向に向けて配置し、各ビデオカメラ111、112、113、114の出力をビデオミキサ回路115で処理して1台のモニクテレビ116で1両面を4分割して表示するとか、なく、4台のビデオカメラ出力をそれぞれ独立のモニタテレビ(図示せず)に入力して独立したテレビ面面として表示しなければならない。

このように所望の複数方向の被写体を撮像する には、いずれにしてもかなり面倒な操作と、操像 スペースを要する複数台のビデオカメラによる操 像方式をとらなければならなかった。

本発明は、従来の複数方向の被写体の撮像方式 における上記問題点を解消するためになされたも ので、複数方向の被写体を1台のビデオカメラで

施例は4方向の被写体を操像するもので、1は4個の反射面をもつ多面ミラーで、各反射面に対向して4個の結像レンズ2-1,2-2,2-3,2-4が配置されている。多面ミラー1の下方には、第1図のに示すように、前紀各レンズ2-1,2-2,2-3,2-4を通り多面ミラー1の各反射面で反射された4方向からの被写体像を結像する位置に、第1図のに示すように、4つのCCD等の過像素子3-1,3-2,3-3,3-4を取り付けたイメージャマウント4が配置されている。

5-1、5-2、5-3、5-4は各機像素子3-1、3-2、3-3、3-4を駆動する信号を送出する駆動回路や、各機像素子3-1、3-2、3-3、3-4からの機像信号を処理する信号処理回路等からなるカメラ制御ユニットであり、6はミキサ回路で、各カメラ制御ユニット5-1、5-2、5-3、5-4で処理された機像信号を再処理して、1つのモニタテレビフで1両面を4分割して表示させるためのものである。

次にこのように構成された多方向提像ビデオカ

容易に、同時に又は順次にあるいは選択的に提像 できるようにした多方向操像ビデオカメラを提供 することを目的とする。

(機器を解決するための手段及び作用)

上記問題点を解決するため、本発明は、複数個の振像素子と、該複数個の振像素子のそれぞれに 複数方向の被写体像をそれぞれ結像させるための 光学系とを設けて多方向振像ビデオカメラを構成 するものである。

このように構成したビデオカメラにおいては、 複数方向の被写体像はそれぞれ光学系を介して複 数の摄像素子にそれぞれ入力され、それにより複 数個の各撮像業子によって複数方向の被写体を同 時に又は順次にあるいは選択的に撮像することが 可能となる。

(実施例)

次に実施例について説明する。第1図(A)は、本 発明に係る多方向摄像ビデオカメラの第1実施例 の概略構成を示す上面図、第1図(B)は、その側面 と概略回路構成を合わせて示す図である。この実

メラの動作について説明する。 4 方向の被写体からの射出光は、各結像レンズ 2-1、2-2、2-3、2-4及び多面ミラー1 の各反射面を介して、対応する各場像案子 3-1、3-2、3-3、3-4にそれぞれ入射して結像される。各場像案子 3-1、3-2、3-3、3-4からの操像信号は、それぞれカメラ解御ユニット 5-1、5-2、5-3、5-4で処理され、ミキサ回路 6 で再処理されて、1 台のモニタテレビで4分割画面で表示され観察される。またミキサ回路 6 を過さずに、各カメラ制御ユニット 5-1、5-2、5-3、5-4からの処理信号を 4 台のモニタテレビで出力させることにより、4 方向、からの被写体像を独立したテレビ画像として観察することもできる。

このように本実施例によれば、簡単な構成で比較的安価な1台のビデオカメラで4方向の被写体を同時に提像することができるので、従来のように4台のビデオカメラを配置して提像する方式と比べ、提像に要するスペースが狭くて済み、従来不可能であった狭い場所から多くの情報を得るこ

とができる。例えば、座談会における各参加者の 変情を正面から多数同時に提像することが、1台 のビデオカメラを用いるだけで可能となる。

第2図は、第2実施例を示す平面図で、この実施例は1つの結像レンズで多方向の被写体像を各提像業子に結像させるように構成したものである。すなわち、第1実施例の反射面の角度を変えた多面ミラー11を用意し、その下方に1つの結像レンズ12を配置し、多面ミラー11の各反射面で反射した4方向の被写体からの射出光をレンズ12を介して、更にその下方に配置した第1図凸に示したと同様な構成のイメージャマウント上に配置された各撮像業子の受光面にそれぞれ結像させるように構成するものである。

第3図は、本発明の第3実施例を示す上面図である。この実施例は多面ミラーを用いず、4方向の被写体からの射出光を直接操像素子の受光面に結像させて同時に撥像するように構成したものである。すなわち、断面正方形状の支持体21の各周面にそれぞれ提像素子22-1、22-2、22-3、22-4を

(発明の効果)

以上実施例に基づいて説明したように、本発明 によれば、簡単な構成で容易に複数方向の被写体 を機像することの可能なビデオカメラを安価に提 供することができる。

4. 図面の簡単な説明

第1図のは、本発明に係る多方向機像ビデオカメラの第1実施例の概略上面図、第1図のは、回路構成を付加したその側面図、第1図のは、そのイメージャマウントを示す平面図、第2図は、第2変施例を示す概略側面図、第3図は第3実施例を示す概略上面図、第4図は、一般的なビデオカメラの構成例を示す概略プロック構成図、第5図は、従来の4方向被写体の機像方式を示す説明図である。

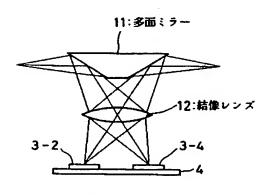
図において、1 は多面ミラー、2-1, 2-2, 2-3, 2-4は結像レンズ、3-1, 3-2, 3-3, 3-4は撮像素子、4 はイメージャマウント、5-1, 5-2, 5-3, 5-4はカメラ制御ユニット、6 はミキサ回路、7 はモニタテレビを示す。

貼り付け、各様像素子22-1, 22-2, 22-3, 22-4に 対向して、各様像素子22-1, 22-2, 22-3, 22-4に それぞれ4方向の被写体からの射出光を結像させ る結像レンズ23-1, 23-2, 23-3, 23-4をそれぞれ 配置して構成するものである。この場合は、各結 像レンズ23-1, 23-2, 23-3, 23-4を介して直接操 像素子22-1, 22-2, 22-3, 22-4に被写体からの射 出光を結像させ、4方向の被写体の機像信号を同 時に出力させることができる。

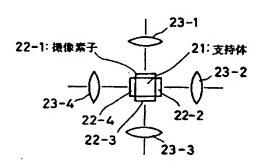
上配各実施例は4方向の被写体を同時に撮像するようにしたものを示したが、本発明は4方向に 限らず、操像常子及びレンズの個数あるいは多面 ミラーの構成を変えることにより、所望の複数方 向の被写体を同時に操像することができる。

また上記各実施例では、多方向の被写体を同時に提像する場合について説明してきたが、本発明は、必ずしもこれに限定されるものではなく、順次に各方向の被写体を提像したり、あるいは多方向のうちの特定複数方向の被写体を、選択的に提像できる機能を備えることもできる。

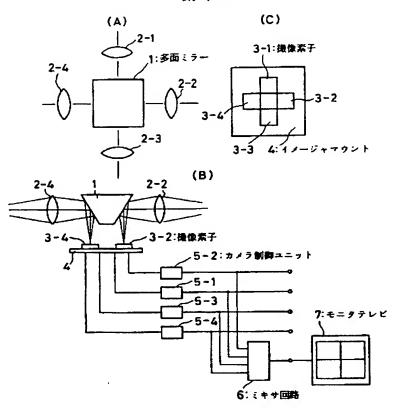
第2図



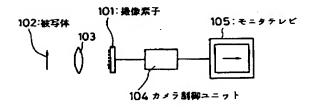
第3図



第 | 図



第 4 図



<u>B</u> 第5図

